

## 都市づくりフォーラム 第10回

### 都市づくりトピックス

< 防犯のまちづくり >

かつては世界一安全な国といわれた日本も、犯罪が多発し、残念ながら「安全神話」は過去のものとなってしまいました。

日常生活の場で発生している犯罪の多くは、ひったくり、車上ねらい、空き巣などですが、これらは「犯罪を起こせそうだ」というスキに乗じて行われるのが特徴です。逆にいえば、スキをなくせば防げる犯罪でもあるのです。

安心して暮らせるまちをつくるためには、地域のつながりを強めること及び見通しの悪いところや暗がりなど危険な場所を減らすことが重要です。

地域のつながりが強まると、住んでいる人同士が顔見知りになって、見知らぬ人に注意を払うようになり、犯罪者を遠ざける効果があります。

また、地域が一体となって、見通しをよくするために地区計画を使って垣根や塀を低くしたり、門灯を設置し一斉点灯したりすることによって、犯罪を起こさせにくい地域にすることができます。

まちを防犯の視点から見直してみましよう。

### 羽生のいいところミーック

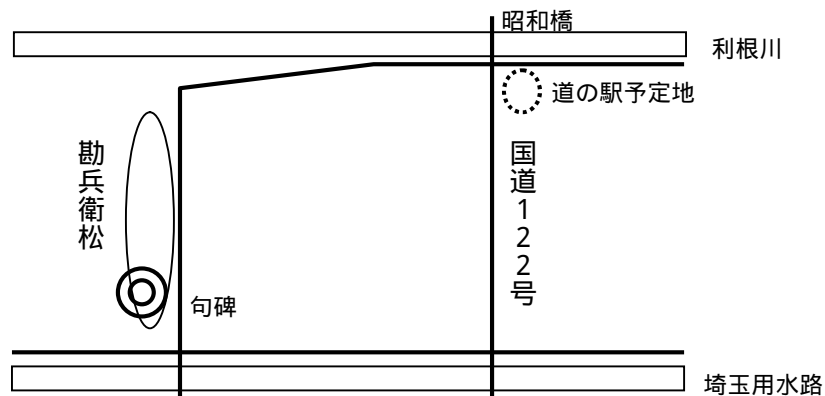
新郷の勳兵衛松並木の傍らに立派な石碑が建っています。これは俳人川島奇北の功績をたたえるため、弟子たちによって建立されたものです。川島奇北は、正岡子規に師事し、俳誌「ホトトギス」にも寄稿した有名な俳人で、羽生でも句会を催していたそうです。かつて入山新道付近には「藻の花会」という句会があって、この欄で紹介した偕楽園の沼を詠んだと思われる句もあるようです。羽生は現在も俳句が盛んな土地として知られているようですが、それは奇北と大勢の弟子たちによって受け継がれてきたものです。

俳句などの文芸作品から、地域の自然や風土を知ることができるものだと思います。そこに地域づくりのヒントがあるかもしれません。

石碑には次のような句が刻まれています。当時の情景が目に浮かぶようです。

二歳駒買れて来たり春渡船 奇北

(この情報は、南3丁目在住の吉田様からいただきました。ありがとうございました。)



## 市民フォーラム

4月から「協働による地域づくり推進事業」が始まりました。そこで今回は、すでに積極的に地域づくりに取り組んでいるグループをご紹介します。

「三田ヶ谷中新田花楽会」は平成13年に結成され、キャッセ羽生周辺の道路沿いに草花を植えています。以前は雑草が生い茂っていましたが、現在はカンナやアジサイが咲き誇る花の道となりつつあります。また、ホウキ草を植え、夏の緑と秋の紅葉を楽しんだ後収穫して簾を作り、販売したそうです。

このように、「地域を美しくしたい」と考えている方は、「協働による地域づくり推進事業」を活用してみませんか。皆さんの思いがカタチになります。

市民フォーラムへのご意見やいいところミーツケへの情報提供先は  
都市計画課（内線275）

FAX 561 - 6380

email [toshikei@city.hanyu.lg.jp](mailto:toshikei@city.hanyu.lg.jp)